

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2023年 vol.42



▲2023年4月より新しく飯田圭一郎整形外科部長を迎えて、新体制でスタートしました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

特集 骨粗鬆症性椎体骨折について

がん診療コーナー 紫外線と皮膚がん
もっと知りたい 臨床工学技士（透析センター）
地域の絆 やました整形外科クリニック
安藤内科

2023.9.1 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

特集

骨粗鬆症性 椎体骨折について



整形外科部長
飯田 圭一郎
いいた けいちろう

はじめに

下関の皆さま、初めまして。令和5年4月に整形外科に着任いたしました飯田圭一郎と申します。

当科は常勤医師9名「飯田、原田、渡邊、太田、九州大病院からの派遣医師5名（金海、杉田、衛藤、矢野、河野）、非常勤医師として前副院長の白澤、前部長の山下を加えた11名で診療を行っております。今回は骨粗鬆症性椎体骨折について紹介させていただきます。

骨粗鬆症性椎体骨折とは

骨の強度の低下（骨粗鬆症）が原因で、尻もちや転倒など軽い力により生じた椎体（背骨）の骨折を骨粗鬆症性椎体骨折といいます。多くの場合は安静とコルセットの装着などの保存療法で症状は改善し骨折部は癒合します。しかし、なかには骨折部が癒合せずに痛みが続くことや（遷延癒合、偽関節）、骨折部が脊柱管内に突出することで脊髄を圧迫

し、下肢の痛みや麻痺が生じることがあります。

診断

腰痛が強ければ転倒などのきっかけがなくても高齢者の方では骨折を疑います。基本はレントゲンでの診断になりますが、微細な骨折はレントゲンでは診断が難しいことも多くMRIを撮影することがあります。MRIは骨折の有無の診断のみならず、骨粗鬆症以外による骨折（腫瘍など）との鑑別にも有用です。

治療

保存療法

椎体骨折に対しては原則的には安静、コルセット装着で治療していただきます。自宅生活が困難な患者さまには入院していただき、痛みに応じて歩行訓練を開始しています。

手術療法

痛みが強くと離床できない患者さまに対してはベッド上で筋力訓練を行い筋力維持に努めます。

痛みのため離床が進まず、今後とも状態悪化が予測される方、下肢痛や

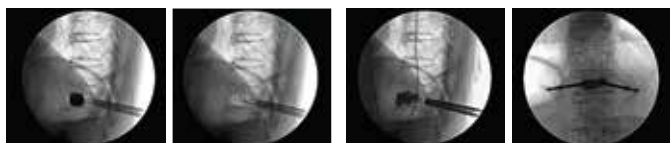
下肢麻痺など神経症状がある方には手術を提案しております。骨折や患者さまの状態により手術方法は様々です。

椎体形成術

骨折部が癒合せず痛みが続いている場合は低侵襲な方法（図1）が適応となります。5mm程度の傷が2か所できる程度で、出血はほとんどありません。骨折部にセメントを注入することで、安定化させる方法ですが、骨折部の状態が悪い場合にはセメントの漏出等の問題があり施行できません。



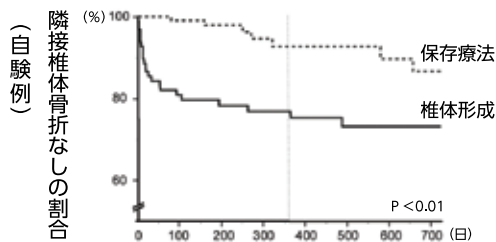
▼バルーンを膨らませて椎体を上げる ▼ 上げたスペースにセメント注入



▲図1 椎体形成術：背中を2か所切開し、挿入した針からバルーンで骨折した椎体を上げ、できた空間にセメントを注入します。

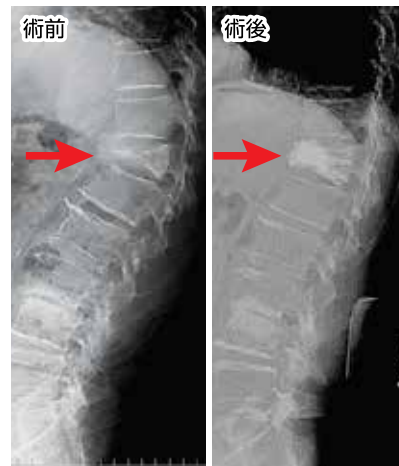


▲図2 隣接椎体骨折：椎体形成した部分(青矢印)の隣りの椎体(赤矢印)が骨折すること。



手術による体への負担は少なく、術後早期に痛みは改善しますが、術後の隣接椎体骨折が課題の一つに挙げられます。

発生率については諸説あり、自験例では術後半半年以内で20%程度であり、多くは術後1か月以内に発生していました(図2)。



椎体置換+後方固定

▲図3



椎体形成+後方固定



固定術

骨折部の状態が悪く、椎体形成術では対応困難と判断した場合にはインプラントによる脊椎の固定術を行います(図3)。

高年齢で全身状態が良好ではない患者さまも多く、なるべく体への負担が少ない手術を選択するように心がけておりますが、骨折部が粉碎しているような例や下肢痛などの神経症状のある例では侵襲の大きい手術が必要となることがあります。

最後に

受傷時はごく普通の椎体骨折でも、経過と共に椎体の圧壊が進むこともあります(図4)。

漫然と経過観察するのではなく、適切な時期(身体に負担のかからない治療で対応可能な時期)に介入することが重要と考えております。

気になることや判断に迷うことがありましたらご相談ください。

また、椎体骨折の予防には骨粗鬆症治療が重要であることは言うまでもありませんが、骨粗鬆症治療率の低さは課題となっております。椎体骨折を起こした患者さまには今後の骨折予防のためにも骨粗鬆症治療がすすめられています。

これからも近隣の先生方と連携し、地域一丸となって骨粗鬆症治療の向上にも取り組んでまいります。今後とも引き続きよろしくお願ひいたします。

最後に

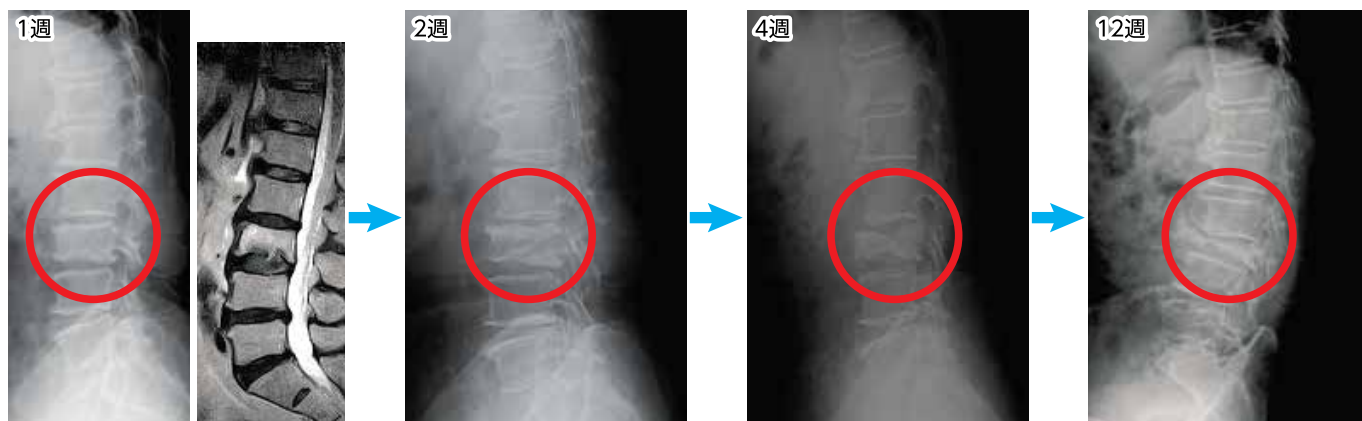
受傷時はごく普通の椎体骨折でも、経過と共に椎体の圧壊が進むこともあります(図4)。

漫然と経過観察するのではなく、適切な時期(身体に負担のかからない治療で対応可能な時期)に介入することが重要と考えております。

気になることや判断に迷うことがありましたらご相談ください。

また、椎体骨折の予防には骨粗鬆症治療が重要であることは言うまでもありませんが、骨粗鬆症治療率の低さは課題となっております。椎体骨折を起こした患者さまには今後の骨折予防のためにも骨粗鬆症治療がすすめられています。

これからも近隣の先生方と連携し、地域一丸となって骨粗鬆症治療の向上にも取り組んでまいります。今後とも引き続きよろしくお願ひいたします。



▲図4 第3腰椎椎体骨折：受傷時にはわずかな骨折線でしたが、12週後には椎体は高度に圧壊し、強い下肢痛が出現しました。



紫外線について

1年中、紫外線は降り注いでいますが、春から夏にかけては紫外線量も多くなります。

紫外線(UV;Ultraviolet)は、生物に与える影響をもとに、波長の長い方からUVA、UVB、UVCに分けられており、波長が短いほど障害性が強くなっています。

UVCとUVBの多くはオゾン層により吸収されるため、少量のUVBと多量のUVAが地表に届きます。

紫外線から皮膚を守るために、日傘、帽子、長袖、長ズボンなどにより物理的に遮断し、日焼け止め(サンスクリーン剤)を塗ることが大切です。

日焼け止め(サンスクリーン剤)の表記の見方

サンスクリーン剤には、SPFやPA(+)の表記があります。SPF(Sun Protection Factor)はUVBに対する防御効果、PA(Protection Grade of UVA)はUVAに対する効果を表しており、数値が高いほど、+が多いほど効果が高いです。十分な量が塗れていない、水や汗、摩擦などで取れてしまうと効果も半減しますので、3時間に1回程度のこまめな塗り直しが推奨されています。

紫外線と皮膚がん

紫外線はビタミンDの生合成せいごうせいなど良い面もありますが、悪い面として、一時的には日焼け、長年にわたって浴び続けると慢性障害として光老化ひかりろうか

が起こります。これはシミ、しわ、皮膚の良性・悪性の腫瘍として、年齢が上がるにつれて現れます。

皮膚がんには様々な種類があり、長年日光を浴びた場所にできやすいがんとして、日光角化症、有棘細胞がん、基底細胞がん、悪性黒色腫(メラノーマ)などがあります。

治療は手術で切除する方法が一般的ですが、がんの種類によっては、塗り薬や液体窒素などを使用したり、がんのステージによっては抗がん剤を投与したりします。

最近大きくなってきた、汁や血がにじむ、形がいびつなど、何か気になる皮膚の変化があれば、早めに医療機関を受診してください。

<皮膚科医師> しろうず まい 白水 舞

【連載エッセイ】

3階東病棟師長を 紹介します

今年度より病棟師長を拝命しました柴田と申します。

当病棟は、循環器内科・心臓血管外科・腎臓内科を中心とした病棟です。その中でも特に多いのが心不全を患っておられる患者様です。

心不全は高齢社会に伴い、患者数が大幅に増えることが予想されています。治療には医師から処方された薬を正しく内服し、体重と血圧のコントロールをすることが重要です。そのため、入院中は薬剤師と連携して日々調整される薬剤の量に神経を使っています。

また、心不全を繰り返し返さないためには健康管理が大切です。退院された後、患者さまご自身で健康管理を行えるように、慢性心不全看護認定看護師や心不全療養指導士が中心となり、管理栄養士、薬剤師などの多職種での療養指導に力を入れています。

慢性心不全看護認定看護師が、退院後の患者さまに電話で様子を伺うこともあります。

心不全に限らず、退院後自宅で生活するにあたり新たなサポートが必要になってくる患者さまもたくさんおられます。それぞれの患者さまに合わせた退院支援を、医療ソーシャルワーカー、地域のケアマネジャーの方々と連携して行っております。

新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行しましたが、今後も感染対策に留意し、スタッフ全員で自己研鑽に励んでまいりますので、今後とも3階東病棟をよろしくお願いたします。



3階東病棟師長 しばた ちはる

患者さま・ご家族に寄り添ったハートフルな看護を提供いたします。

2023



ふれあい看護体験

看護師の仕事体験しよう！

市民病院からの
お知らせ

hospital news



2023年8月1日に「ふれあい看護体験」を開催いたしました。「ふれあい看護体験」は、病院や福祉施設において見学や看護体験、看護師との交流などを行うイベントで、「看護の日・看護週間」の一環として全国的に開催されています。当院での5年ぶりの開催となる今年度は小学5年生から中学1年生の12名に参加していただきました。

当日は白衣に着替え、血圧測定などのバイタルサインや酸素飽和度の見方を学び、ストレッチャーや車いすでの搬送、心肺蘇生術などの看護体験をしていただきました。

参加者からは「車いすやストレッチャーでの搬送が楽しかった」「心臓マッサージを実際にやってみると、とても大変だった」「憧れの仕事。将来、看護師になりたい」という感想をいただき、企画する看護師にとっても初心を思い返す機会となりました。

次世代の看護師を育成するために、素敵なふれあいができるよう、今後も企画してまいります。

令和5年度第1回

市民公開講座のお知らせ

演題 お尻の痛みや足のしびれ

～腰部脊柱管狭窄症についての
少し詳しいお話～

講師:整形外科部長 飯田 圭一郎



開催日 2023年9月30日(土) 10:00～11:00

会場 下関市立市民病院 本館2階講堂

参加費 無料 定員 120名(先着受付順)

9月29日(金)までに、電話、FAX、Eメールで、経営企画グループまでお申し込みください。FAX、Eメールの場合は必要事項(氏名(ふりがな)、電話番号、参加人数)を明記の上、お送りください。

電話番号 083-231-4111 (代表)

FAX 083-224-3838

E-mail keiei@shimonosekicity-hosp.jp

登録医の先生方へ

令和5年度下関市立市民病院地域医療連携の会を開催します。令和5年11月29日(水)19時より
※ご案内は後日郵送いたします。

新興感染症の発生を想定した 机上訓練を行いました



2023年6月1日に新興感染症の発生を想定した机上訓練を海峽メッセ下関で合同開催し、感染対策向上加算及び外来感染対策向上加算を届け出ている36施設が参加しました。

新興感染症を想定した訓練として、発疹を伴う原因不明な感染症が全国的に増加している中、体熱感と倦怠感でクリニックを受診するという想定のもと、検討課題についてグループワークを行い、発表、意見交換及び、情報共有を行いました。

今後も当院は、第二種感染症指定医療機関として市民にとって安心して受診や入院できる病院であり続けるために、努力してまいります。



臨床工学部
主任
み たい もりまさ
三田井 盛将

透析センターでの臨床工学技士の主な仕事内容を教えてください。

血液浄化療法には高度な医療機器が使用されています。患者さまに安心・安全に治療を受けていただくため、透析関連装置の保守・管理を施行しています。

患者さまに直接携わる業務では、血液浄化装置などの準備や操作、穿刺や治療を行い、CAART（腹水濾過濃縮再静注法・腹水を濾過することにより、細菌及びがん細胞等を除去し、アルブミンなどの蛋白質を濃縮し、再静注する治療法）やGCA P（顆粒球除去療法・血液を体外に連続して取り出し、炎症の原因とな

る白血球を選択的に除去する治療法）等の特殊な血液浄化療法も実施しています。

また透析センターだけではなく、救命センターでの急性血液浄化等も行っており、業務は多岐にわたります。

腎代替療法とはどんな治療ですか？

腎機能が悪化し、自分の腎臓では体の環境が維持できなくなったりと、腎臓の代わりをする治療が必要となります。それを腎代替療法とよびます。腎代替療法には腎移植（生体腎移植と献腎移植）、透析療法（腹膜透析と血液透析）があります。

臨床工学技士を目指したきっかけを教えてください。

私は幼少期から小児喘息があり、医療スタッフにお世話になってきました。病気を抱える人の役に立ちたいと考えていたところ、高校時代の恩師より国家資格である「臨床工学技士」の存在を知りました。

透析センターはどんな職場ですか？

腎臓内科医、泌尿器科医、看護師、臨床工学技士等、様々な職種が

一緒に働いており、互いに違った視点から患者さまを支える職場です。またユニークなメンバーが揃った和気あいあいとした楽しい職場となっています。

仕事をしていくうえで大事にしていることは何ですか？

「日々是精進」と「和を以て貴しと為す」を心がけています。常に現状に満足することなく、知識と技術をアップデートしていくこと、様々な職種と連携し、協調性を重んじることが医療に携わるものとして大切だと思っています。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることなどを教えてください。

筋肉トレーニングです。「筋肉は裏切らない」を座右の銘とし、日々トレーニングに励んでいます。



▲安全な透析が提供できるように、治療前に透析機器の点検に励んでいます。



救急センター
副主任

ふじい あきこ
藤井 晶子



ICLSは日本救急医学会提唱の「突然の心停止に對して最初の10分間の適切なチーム蘇生」を習得することを目標とするトレーニングコースです。シミュレーション実習を通して心停止に駆けつけたスタッフがチームとして蘇生を行う技術を約1日で習得できるよう構成されています。当院には現在7名のインストラクターが在籍しています。

2017年から年に2回のペースで、院内でICLSコースの受講希望者を募って開催しており、受講者は延べ100名以上になります。心停止後の最初の10分の対応が患者さまの生死を分けます。私たちインストラクターは、質の高い蘇生法を受講者に伝えることが、「最初の10分」に踏み出すきっかけになることを切に願っています。

地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

やました整形外科クリニック

院長 やました 山下 あきひさ 彰久 先生



(左から) 宮野清孝 理学療法士、山下彰久 院長、大久保典子 看護師

この度5月10日に東駅バス停そば、サンシティニュー東駅マンションに開業しました。私は2005年、白澤先生（前 整形外科部長）とのご縁で下関市立市民病院（旧 中央病院）に入職し、以後18年間勤務させていただきました。市民病院在籍中は色々な職種の方に本当にお世話になりました。さて、心強いことに当院には市民病院から大久保典子さん（看護師）と宮野清孝さん（理学療法士）が入職して下さいました。

お二人とも私の開業にはなくてはならない存在で、日々の業務を円滑に進めていただけるのみならず、他のスタッフの調和にも一役かっただき大変助かっております。しっかりスクラムを組んでクリニックを支えていきたいと思っております。50歳を過ぎメスを置いた今、痛みを和らげる薬物治療やブロック治療、身体機能の回復を促すリハビリテーション、手術が必要な病態の見極めや適切な紹介、アスリートやご高齢者の予防医療など、これまでの外科医としての経験を最大限に活かし、かかりつけ医としての責務を全うすることがこれからの使命であると考えております。

初心にかえって精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。最後に、市民病院の益々のご発展と職員の方々のご多幸を祈念し開業のご挨拶とさせていただきます。

〒750-0046 下関市羽山町1-1 TEL：083-228-1015 <整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科>
月・火・水・金：9:00～12:30、14:00～18:00 木：9:00～12:30（午後休診）土：9:00～13:00（午後休診）

安藤内科

院長 あんどう 安藤 まさや 正也 先生

約半世紀にわたり、下関市の南端にある彦島の玄関口、本村町で、内科診療所を開設しています。2009年6月には、現在の場所（彦島のサンキュードラッグの近く）に移転、引き続き診療を行なっています。

現在、医師1名、受付事務2名、看護師3名の体制で診療を行なっています。標榜診療科は、内科、消化器内科、呼吸器内科で、生活習慣病の高血圧症、糖尿病、脂質異常症などについての診療も行なっています。また、腹部エコー検査も行なっています。十分な新型コロナウイルス感染症対策が困難なため、しばらく中断していました胃内視鏡検査も再開しました。

各種健康診断、特定健診、大腸がん、肺がん、前立腺がん検診などががん検診なども行なっています。なお、当院は小規模な診療所のため、対応できない検査、治療など多々あります。特にお世話になっている下関市立市民病院などの総合病院とも病診連携を行なっていますので、ご相談ください。

〒750-0074 下関市彦島本村町7-3-1 TEL：083-266-1866 <内科・消化器内科・呼吸器内科>
月・金：9:00～12:30、15:00～18:00 火・水：9:00～12:30、16:30～18:00 木・土：9:00～12:30（午後休診）
*日曜、祭日、お盆、年末年始は休診です。



外来診療のご案内

2023年 8月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科			大草 響/加来 寿光	保利 喜史	大草 響	保利 喜史	加来 寿光
内科・呼吸器内科			山口 雄大(※)(午前)				鳥井 亮(※)(午前)
内科・循環器内科			金子 武生/野田 裕剛	金子 武生	安田 潮人	辛島 詠士	辛島 詠士/有馬 岳史
禁煙外来(午後・予約制)					金子 武生		
内科・腎臓内科				坂井 尚二	安宅 映里(※)(午前)	中村 亜輝子(※)(午前)	
内科・血液内科				久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科			大田 俊一郎 甲斐 達也(※)(午前)	大田 俊一郎 (地域連携室 紹介のみ)	大田 俊一郎 久志本 和郎	木村 光一(※)(午前)	大田 俊一郎 久志本 和郎
糖尿病内分泌代謝内科			河野 倫子	鍋島 公喜	河野 倫子	河野 倫子	鍋島 公喜
神経内科(午前中・予約制)					本田 真也(※)		
精神科					原 正吾(※)		
心臓血管外科				上野 安孝/鬼塚 大史		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前		萱島 理/宮竹 英志 中原 千尋	川地 眸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	萱島 理	川地 眸 大谷 和広
	午後		院長外来(院外紹介) 萱島 理/宮竹 英志	乳腺外来 川地 眸 中原 千尋	大谷 和広	ストーマ外来(第2・第4) 萱島 理	乳腺外来 川地 眸 大谷 和広 ストーマ外来(新患)第2・第4
呼吸器・抗酸菌症外来(呼吸器外科)			吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)				井上 政昭		井上 政昭/名部 裕介	名部 裕介(午前)
脳神経外科			中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/田代 洸太	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 田代 洸太(午後)
整形外科	再診		杉田 敏明	太田 浩二/衛藤 凱	飯田 圭一郎 河野 敦	原田 岳 金海 光祐	渡邊 哲也(午後)/矢野 裕大 白澤 建藏(※)
	新患		太田 浩二 河野 敦	渡邊 哲也 矢野 裕大	飯田 圭一郎 原田 岳/杉田 敏明	飯田 圭一郎 衛藤 凱	金海 光祐 白澤 建藏(※)(午前)
産科	一診(初診)		榊原 亜有美	平儀野 剛	吉弘 悟	平儀野 剛	榊原 亜有美
	二診(予約のみ)		平儀野 剛	吉弘 悟	榊原 亜有美	吉弘 悟	吉弘 悟
眼科			石村 良嗣	石村 良嗣	石村 良嗣	石村 良嗣 ロービジョン外来(第4午後)	石村 良嗣
放射線診断科				山砥 茂也			
放射線治療科			有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前) 小野 太輝(※)(午後)	有賀 美佐子
小児外科					九大派遣医師(※)	中村 晶俊(※)(第2・第4午後)	
産婦人科	午前(一般外来)		前田 博敬(第1・第3・第5) 川崎 憲欣(※)(第2・第4)	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	
	午後(更年期外来)			前田 博敬(予約のみ)			
疼痛外来 ペインクリニック内科	午前			藤原 義樹(※)			藤原 義樹(※)
	午後			藤原 義樹(※) 午後外来は13~14時受付			門脇 史宜(※)
皮膚科			内田 寛/白水 舞 午後外来は13~14時受付	内田 寛(午前) 白水 舞(午前)	内田 寛/白水 舞 午後外来は13~14時受付	内田 寛(午前)/白水 舞(午前) 午後:手術	内田 寛/白水 舞 午後外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科			平 俊明 宮崎 孝	平 俊明 九大派遣医師(※)	平 俊明 宮崎 孝	平 俊明 宮崎 孝	平 俊明 宮崎 孝
歯科・歯科口腔外科			上原 雅隆 西川 健	上原 雅隆/西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆/西川 健 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆/西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆 西川 健
緩和ケア外来				牧野 一郎(午前中)(予約制)		牧野 一郎(午前中)(予約制)	
救急科(午前・午後)			中原 千尋/尾中 貞夫	尾中 貞夫	中原 千尋	中原 千尋/尾中 貞夫	中原 千尋

- ◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください。)
- ◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第3月曜日13:00~15:00(第3月曜日が休日の場合は第4月曜日)
- ◆ロービジョン外来(眼科外来:要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援
- ◆整形外科は再診・新患ともに完全予約制です。急患はご相談ください。

病院の最新情報は
こちらから



地方独立行政法人
下関市立市民病院
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号
TEL:083-231-4111(代表) FAX:083-224-3838
ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>
地域連携室(紹介予約) 専用TEL:083-224-3860 専用FAX:083-224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力お願いします。